

目次

最新情報.....	1
新機能.....	1
V1.40の追加.....	1
V1.30の追加.....	2
V1.20の追加.....	2
V1.11の追加.....	2
メンテナンス項目.....	3
V1.41の修正.....	3
V1.40の修正.....	3
V1.30の修正.....	3
V1.20の修正.....	4
V1.11の修正.....	5
ファームウェアバージョンの確認.....	6
ファームウェアアップデート手順.....	6

最新情報

本機のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) にてご確認ください。

新機能

V1.40の追加

- 外部機器で録音したファイルをカレントフォルダーに取り込んだ場合、フォルダーのリビルド（再構成）なしで本機で扱えるようにしました。
- タイムコードジェネレーターフレーム区切り(フレーム以下がゼロ)から録音を開始する“**T/C Frame SYNC REC**”機能を“**REC SETUP**”画面の“**REC MODE**”タブ画面に追加しました。
- 録音停止後の位置をテイク先頭／末尾で切り換える“**REC STOP Position**”機能を“**REC SETUP**”画面の“**REC MODE**”タブ画面に追加しました。
- テイク選択画面の時刻表示欄に“**END T/C**”を追加し、テイク末尾のタイムコードを表示できるようにしました。
- カレントテイクリストの情報をcsvファイルに出力するSound Report機能を追加しました。
- ONLINEフェーダーの設定値を“**CHANNEL SETUP**”画面に表示するようにしました。
- メーター表示する位置をONLINEフェーダーの前後で切り換え機能を“**METER SETUP**”画面と“**CHANNEL SETUP**”画面に追加しました。
- FTPクライアントアプリケーションにより下記を実施した際、フォルダーのリビルド（再構成）を促すメッセージを表示し、関連ボタン上に“**▲**”アイコンを表示するようにしました。
 - テイクリスト登録ファイルをカレントフォルダーから削除
 - フォルダーを削除
- 外付けキーボードのEscキーを押すことで、フロントパネルの**EXIT/CANCEL [PEAK CLEAR]**キーと同じ動作をする機能を追加しました。
- 外付けキーボードによる各種ショートカットキー機能を追加しました。

メモ

詳しくは、HS-8の追補「ファームウェアV1.40の新機能」を参照ください。

V1.30の追加

- ネットワーク機能 (FTP / telnet / VNC) を追加しました。
- “**LOCK SETUP**” 画面に “**REMOTE/KEYBOARD**” と “**EXTERNAL Control**” の Lock / Unlock 設定を追加しました。
- テイク名を変更する機能を追加しました。
- レコードファンクションがオンに設定されたチャンネルの停止状態でのモニターを無音 / 入力モニターで切り換える Rec Fn Stop Monitor 機能を “**SYSTEM SETUP**” 画面の “**PREFERENCES**” タブ画面に追加しました。
- 録音待機状態でのモニターを無音 / 入力モニターで切り換える Rec Pause Monitor 機能を “**SYSTEM SETUP**” 画面の “**PREFERENCES**” タブ画面に追加しました。
- レコードファンクションがオンのチャンネルに基準レベルの 1kHz サイン波を入力するスレートトーン機能を、“**MIXER SETUP**” 画面の “**OUTPUT**” タブ画面に追加しました。
- 録音 / 出力するタイムコード ユーザーズビットを切り換える USERS BITS Source 機能を “**SYNC T/C**” 画面の “**I/O**” タブ画面に追加しました。
- テイク情報のポップアップ表示にテイク末尾のタイムコード時刻を追加しました。
- コンシューマーフォーマットのデジタル入力信号を受信できるようにしました。
- 文字入力画面および数字入力画面表示中に外付けキーボードの SHIFT キーを押しながら BACKSPACE キーを押すことで、入力文字 / 数字を全てクリアする機能を追加しました (数字入力画面では、今まで Esc キーで入力値をクリアしていたのを変更しました)。
- 文字入力画面表示中に外付けキーボードの ↑ キー / ↓ キーおよび HOME キー / END キーを押すことで、カーソル位置を文字列の先頭 / 末尾に移動する機能を追加しました。
- “**PROJECT**” 画面のタイトル表示を、選択対象に合わせて “**PROJECT**”、“**FOLDER**”、“**TAKE**” と切り換えるようにしました。
- “**PROJECT**” 画面表示中に PROJECT キーを押した際、現在表示されているフォルダーの 1 つ上の階層のフォルダー表示に切り換えるようにしました。

メモ

詳しくは、HS-8 の追補「ファームウェア V1.30 の新機能」を参照ください。

V1.20の追加

- RS-422 端子を利用する SONY P2 プロトコルに対応したエディター / シンクロナイザのためのテープエミュレートモードを追加しました。
- 日本語のフォルダー / ファイル名の表示に対応しました。
なお、本機での日本語入力はできません。
- RS-232C 経由での Chase オン / オフ切り換えに対応しました。
- SONY P2 プロトコルの REC コマンドに対応しました。
- ポップアップウィンドウ上の “**OK**” / “**CANCEL**” ボタンを外部キーボードの Enter / Esc キーで操作できるようにしました。

メモ

詳しくは、HS-8 の投げ込みシート「ファームウェア V1.20 の新機能」を参照ください。

V1.11の追加

- USB インターフェースのキーボード接続に対応しました。
- 入力タイムコードとプロジェクトタイムコードが異なる場合の同期再生に対応しました。

メンテナンス項目

V1.41の修正

- “PROJECT” 画面のフォルダー選択画面でCOPYを実施した後、“MEDIA SELECT” 画面でカレントメディアの切り換えを実施すると、ポップアップメッセージが消えなくなり、ほとんどの操作ができなくなる不具合を修正しました。
- IPアドレス取得モード “IP SETUP” を “DHCP” から “STATIC” に変更した後にDHCPサーバからIPアドレスを取得してしまう不具合を修正しました。
- ファイル名の拡張子が大文字「WAV」のWAVファイルをCFカードにコピーした際、リビルド（再構成）してもこのファイルが表示／再生できない不具合を修正しました。
- FTPでカレントフォルダーにWAVファイルを転送した際、リビルド（再構成）しないと転送したファイルが表示／再生できない不具合を修正しました。
- FTPで非カレントフォルダーにファイルを転送した後にRS-232C / TelNetでこのフォルダーをロードした際、リビルド（再構成）しないと転送されたファイルが表示／再生できない不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

V1.40の修正

- 動作の安定性を向上させました。

V1.30の修正

- “PROJECT” 画面の視認性向上のため、カレントプロジェクトとカレントフォルダーのフォルダーアイコンを黄色、それ以外のフォルダーアイコンを灰色に変更しました。
- 外付けキーボードのNum Lock設定の切り換えに対応しました。
- 本機以外で作成されたWAVファイルにマークポイントを追加できなくなることがある不具合を修正しました。
- 読み取り専用で設定されたWAVファイル／BWFファイルに対してマークの登録／マーク、タイムコードおよび名前の編集操作をした際、読み取り専用ファイルでは登録・編集できない旨のメッセージを表示するようにしました。
- WAVファイルのiXML情報のうち、カレントプロジェクト／セッション情報が間違っていた不具合を修正しました。
- テイク選択画面で “Circle Take” を実行した際、iXMLの<CIRCLED>タグも変更するように修正しました。
- “NEXT TAKE NAME” 画面で “User Word” に設定していてもiXMLの<SCENE>タグにフォルダー名を記録していましたが、“NEXT TAKE NAME” 画面で設定されている名前を記録するように修正しました。また、iXMLの<TAPE>タグを追加し、ここにフォルダー名を記録するように修正しました。
- RS-232Cのカレントシーン番号確認コマンド（7F0255）への返信メッセージにおいて、プロジェクト番号が不定になっていた不具合を修正しました。
- RS-422端子からSONY P2プロトコルで出力される時間データにDFフラグが設定されない不具合を修正しました。
- “MIXER SETUP” 画面の “INPUT” タブ画面で “INPUT SOURCE” を切り換えた際、音声信号を入力した状態のままでも切り換えノイズが出ないように修正しました。
- チャンネルリンクをオンに設定されたチャンネルでUnlock状態のデジタル入力を選択している状態で、入力ソースをアナログ入力に切り換えた際、偶数チャンネルの入力がミュートされてしまう不具合を修正しました。
- いずれかのチャンネル入力をデジタル入力に切り換えた後、外部クロック同期時にクロックマスターがUnlock状態になってもUnlockと認識されない不具合を修正しました。
- Emphasisの掛かったデジタル入力信号がDe-Emphasisされていなかった不具合を修正しました。
- JAM SYNCが同期しないことがある不具合を修正しました。
- “SYNC T/C” 画面の “SETUP” タブ画面の “TC GEN MODE” が “TIME OF DAY” に設定されている際、“SYSTEM SETUP” 画面の “CLOCK ADJUST” タブ画面で内蔵時計の時刻を変更しても内部のタイムコードジェネレーターが変更した時刻に追従していなかった不具合を修正しました。
- “SYNC T/C” 画面の “SETUP” タブ画面の “Frame Type” 設定が “23.976F” の状態で、フレームタイプが29.97NDFのタイムコードが入力された際、入力タイムコードのフレームタイプに “30NDF” と表示していたのを “29.97NDF” と表示するように修正しました。
- タイムコード同期動作の安定性を向上させました。
- その他、動作の安定性を向上させました。

V1.20の修正

- 外部キーボード経由だとFATファイルシステムによる禁止文字（¥ / : ; * ? " < > |）の一部がファイル名として入力できてしまう不具合を修正しました。
- マークリストインフォメーション画面において“**MANUAL MARK**”を選択して“**DELETE**”を実施した際、全ての“**MANUAL MARK**”が削除されずに1つ残ってしまう不具合を修正しました。
- “**SYNC T/C**”画面で表示される周波数が正常な場合でも、44.1kHzと表示されない不具合を修正しました。
- 操作手順により“**CREATE PROJECT**”画面で“**CREATE PROJECT**”ボタンが押せず、プロジェクトを作成できないことがある不具合を修正しました。
- “**SYNC T/C**”画面・“**SYNC**”タブ画面の“**TC Chase**”項目の設定が“**ON**”のとき、外部タイムコードが瞬間的に欠落してジャンプした後に外部タイムコードが復帰した場合、同期再生の誤差が200～400μSec発生する不具合を修正しました。
- “**SYNC T/C**”画面・“**SYNC**”タブ画面の“**TC Rebase**”項目の設定が“**OFF**”のとき、TC Chase中にSONY P2プロトコルのタイムコードが更新されていなかった不具合を修正しました。
- 録音停止直後に、録音開始前のタイムコード時刻がSONY P2プロトコルのタイムコードとして出力されていた不具合を修正しました。
- “**SYNC T/C**”画面・“**SETUP**”タブ画面の“**TC GEN MODE**”項目が“**REGEN**”または“**JAM SYNC**”での録音時にファイルに記録されるスタートタイムの精度を向上しました。
- 2GB以下のCFカードをFAT16でフォーマットするようにしました。
- マークポイントの情報が一部読めないことがある不具合を修正しました。
- iXMLチャンクが正しいサイズで書かれないことがあった不具合を修正しました。
- iXMLのタイムスタンプにマイナスの値が書かれてしまうことがある不具合を修正しました。
- CFカード残量が残りがり1分以内に録音ファイルサイズが2GBになる場合に“**Record Error**”が発生し、2GBを超えた部分に不正な音声データが録音される不具合を修正しました。
- 偶数チャンネルのみソロもしくはインプットモニターの設定がオフの状態チャンネルリンクをオンにした際に、設定が正しく反映されないことがある不具合を修正しました。
- 別プロジェクトのフォルダーやテイクをロードすると、変更前プロジェクトの設定ファイルが更新されない不具合を修正しました。
- ポップアップメッセージが消えなくなることがある不具合を修正しました。
- CFカードのフォーマット中にエラーが発生した際、エラー報告のポップアップメッセージが表示されない不具合を修正しました。
- CFカードを装着して“**Reading Media**”のポップアップメッセージが表示されている状態でそのCFカードを抜くと、以降CFカードの読み込みができなくなることがある不具合を修正しました。
- マスタークロックが“**CH1-2DIN**”～“**CH7-8DIN**”もしくは“**VIDEO**”に設定された状態で起動すると一旦Unlockを検出してしまい、マスタークロックがロックしていても確認ポップアップを消すまで外部クロックに同期しない不具合を修正しました。
- パラメーターを操作することで“**Cannot Change Now**”とポップアップメッセージが表示された際、一部パラメーターが変更できてしまう不具合を修正しました。
- 以下のポップアップメッセージの文章を変更しました。

ポップアップメッセージの変更

旧メッセージ	新メッセージ	内容と対処方法	備考
CFn not recommended format for Recording/Playing.	メディア装着時： CFn formatting not optimal for Recording/Search. 録音開始時： CFn formatting not optimal for Recording.	メディアが本機でフォーマットされていないため、正常な録音／サーチ動作を保証できません。 本機でフォーマットしてからご使用ください。	n=1または2 本機の規定よりも小さいクラスタサイズでフォーマットされている際に発生。
CFn not recommended for Recording/Playing. (not UltraDMA)	メディア装着時： CFn not recommended type for Recording/Search. (not UltraDMA)	このカードは、システムの要求する仕様を満たさないため、正常な録音／サーチ動作を保証できません。	n=1または2

V1.11の修正

- ジョグ動作モードがオン状態時にテイクスキップやサーチ動作を行った場合、まれにジョグ再生状態に戻らない不具合を修正しました。
- CFカード読み込み中、任意のキーを繰り返し押し続けると、まれにCFカードの読み込みが完了しなくなる不具合を修正しました。
- フォルダーコピー実行中、書き込みを行っているCFカードのSLOTインジケータを点滅するように修正しました。
- フォルダーコピーをキャンセルで終了後、次にフォルダー削除等を行うと正常に終了しない不具合を修正しました。
- CFカードスロット、プロジェクト、フォルダー切り換えを行うと外部タイムコード同期再生動作をオフにするよう修正しました。
- オートキュー機能、オートレディー機能が共にオンで、テイクの途中で再生待機しているテイクを再生すると、テイクの先頭から再生を開始してしまう不具合を修正しました。
- シャトル動作が自動で停止した際には、ダイヤル位置を初期化するよう修正しました。
- “Auto Cue” サーチ中にPLAYキーを押した際、PLAYキーが点滅のままとなっている不具合を修正しました。
- HS-P82やシステムバージョンの古いHS-8で作成されたプロジェクトを使用した際、本体に記録されている設定が誤った設定値のままとなっている不具合を修正しました。
- シリアル接続のモードを“RS-422”設定で本体を起動後、シリアル接続のモードを“RS-232C”に設定を切り換えても通信設定が反映されない不具合を修正しました。
- 録音後の再生、テイクスキップ後の再生時にTIME CODE OUT端子出力から一瞬再生時間と異なる時間が出力されている不具合を修正しました。
- 同期再生精度を向上しました。
- ファイル管理の不具合により、まれにハングアップしてしまうことがある不具合を修正しました。
- 長いテイクの後に短いテイクが連続すると、連続再生時に再生エラーが発生することがある不具合を修正しました。
- テイクの最後まで早送りサーチ動作を行うと、テイクの最後でノイズが出力されることがある不具合を修正しました。
- タイムカウンター表示設定が“T/C”のとき、テイクの先頭まで早戻しサーチを行うと、一瞬タイムカウンター表示に不正な時間が表示される不具合を修正しました。
- カレントフォルダー以外のフォルダーコピー完了後、まれにエラーメッセージが表示される不具合を修正しました。
- オートレディー機能がオンでの再生時、早送りサーチを何度も繰り返し行くと、再生エラーメッセージを表示することがある不具合を修正しました。

ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアアップデート作業前に、お手持ちのHS-8のファームウェアバージョンを確認します。

1. 本体の電源を入れてください。
2. フロントパネルのMENUキーを押して、“MENU”画面を表示します。

3. “VERSION INFO” ボタンを押します。

ここで表示される“SYSTEM VERSION”（ファームウェアバージョン）を確認してください。ここで表示されるバージョンが、これからアップデートしようとしているバージョンと同じ、または新しい場合はアップデートの必要はありません。

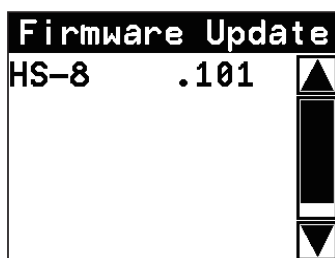
ファームウェアアップデート手順

1. TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) より最新のファームウェアをダウンロードします。ダウンロードを行ったファイルがZIP形式などの圧縮ファイルの場合は、解凍してください。
2. ダウンロード／解凍した全てのファイルをパソコンでCFカードのルートフォルダー（一番上の階層）にコピーします。
3. コピーが終わったら、パソコンからCFカードを正しい手順で取り出します。
4. CFカードを本体フロントパネルのCFカードSLOT 1に挿入します。

注意

CFカードは、必ずCFカードSLOT 1だけに入れてください。CFカードSLOT 2では、アップデートはできません。転送時に間違っCFカードSLOT 2に転送することを避けるために、CFカードSLOT 2にはCFカードを入れないでください。

5. PAUSEキーとRECキーを同時に押しながら、本体の電源を入れます。本体がアップデートモードで起動し、画面にアップデート用ファイルが表示されます。

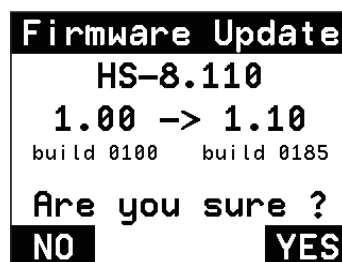


注意

上記の画面が表示されないときは、一旦電源を切り、PAUSEキーとRECキーを同時に押しながら再度電源を入れてください。PAUSEキーとRECキーは、上記の画面が表示されるまでしっかり押し続けてください。

メモ

- 上記の画面には、本機のCFカードSLOT 1に挿入されたCFカードのルートフォルダー内にあるファームウェアアップデート用のファイルがリスト表示されます。上記の2.でコピーされたファームウェアも表示されます。アップデート用のファイルが無い場合は、“No Update File”と表示されます。
 - 表示行はファームウェア最大5行です。表示最大行を超えるファイルがある場合には、画面右側のスクロールバーの“▲”／“▼”のボタンかDATAダイヤルでリストをスクロールさせてください。
6. アップデートしたいファームウェア名を押してください。以下の画面が表示されます。



左側に現在のバージョン、右側にアップデートするバージョンナンバーが表示されます。

メモ

画面は一例で、実際の表示とは異なります。

7. “YES” ボタンを押すと、アップデートを開始します。

注意

アップデート中、電源を切らないでください。

8. アップデートが終了すると画面下に“Complete”、“PLEASE POWER OFF”と表示されます。電源を切り、再度電源を入れてください。
9. 「ファームウェアバージョンの確認」を参照して“SYSTEM VERSION”（ファームウェアバージョン）が最新のファームウェアとなっていることを確認してください。以上で本機のアップデート作業は終了です。